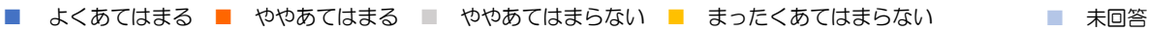
教職員用　令和6年度 自己評価 [教育保育・内容項目]

対象者 24名　対象職種：保育教諭・保育士

回答 24名　　回収率 100%



【教育・保育目標】

1	園の教育理念や教育目標を理解し、保育者間で共通理解を図っている。	54.2% 41.7%
2	園の教育課程は、幼稚園教育要領を踏まえ園の教育理念・教育目標に基づいて作成されている。	79.2% 20.8%
3	園の教育課程を理解し、それに基づいて指導計画を作成している。	50.0% 50.0%
4	指導計画は乳幼児の発達に即して乳幼児期にふさわしい生活を出来るように具体的に作成している。	50.0% 50.0%

【教育・保育実践】

5	安全で清潔な環境を整え、楽しい雰囲気の中遊ぶことができるように工夫している。	79.2% 20.8%
6	園庭や身の回りの自然物を活用し、季節の変化に応じた環境の構成をしている。	50.0% 50.0% 0.0%
7	遊びに必要な遊具や用具、素材等を質・数量に配慮して用意している。	54.2% 45.8%
8	異年齢の乳幼児が自然に交流出来るような環境の構成をしている。	33.3% 62.5% 4.2%
9	自分の保育についての評価・反省をいくつかの観点から行い、次の保育に生かしている。	62.5% 37.5%
10	ケガや事故に気をつけ、万が一事故やケガが発生した時には上司に報告している。また、保護者に連絡を取り医師に見てもらうなど適切な処置を行っている。	100.0% 0.0%
11	園内に危険な環境はないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮している。	79.2% 20.8%
12	園内の清掃や整理整頓、換気、採光、室温、湿度に気を配っている。	58.3% 41.7% 0.0%

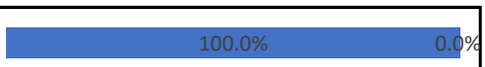
【乳幼児の理解】

13	一人ひとりの発達の姿や課題について、見通しを持って理解している。	45.8% 54.2%
14	乳幼児の思いや考えに共感しながら一緒に活動している。また、一人ひとりのありのままの姿を受入れ、その子の良さを認めるように心がけている。	12.5% 87.5%
15	乳幼児が理解しやすいように正しい言葉を使っている。善悪の判断、思いやりなど道徳性を培う上でのモデルになるように心がけている。	50.0% 50.0%
16	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応を行っている。	79.2% 20.8%
17	乳幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解が出来るように心がけている。	79.2% 20.8%

【保育者としての資質と能力】

18	保護者に対し、乳幼児や自分の保育のことを分かりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努めている。	
19	職務上知り得たプライバシーに関する情報など秘密を守っている。	
20	締切のある仕事や提出物は締切日をきちんと守っている。	
21	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるように努めている。	
22	子どものこと、クラスでの出来事などで必要な事は上司に報告、連絡、相談をしている。	
23	乳幼児と一緒に生活をつくり出す事を楽しいと感じている。	

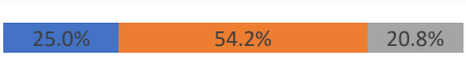
【保護者への対応】

24	保護者からの相談や要望に耳を傾け、よく話を聞くようにしている。	
25	保護者からの依頼や伝言などについてはメモ等をしきちんと対応している。	
26	保護者からクレームがあった場合にはまず謙虚にその話を聞き、上司に報告、連絡、相談をしている。	

【地域の自然や社会との関わり】

27	地域の人々と挨拶を交わすようにしている。また、地域の自然を理解し保育に活用している。	
28	幼少連携の必要性と対応について理解している。	
29	子育て支援について関心を持ち、具体的な形や内容について理解しようとしている。	

【研修と研究】

30	自分の保育について自己課題を持って評価、反省を行っている。	
31	自分の保育の在り方や悩みについて他の保育者や上司に相談している。	
32	乳幼児の発達について理解を深め、保育に生かすための研修を受け、内容を理解している。	
33	保護者への対応に関する研修を受けている。	
34	預かり保育について（目的、教育課程との関連、幼児の負担、家庭との連携）理解をしている。	
35	アレルギー、自立の遅れ、障がいのある幼児への対応について理解するよう努力している。	
36	危機管理の必要性と対応について研修を受け、内容を理解している。	

指導計画について、評価が半分に割れた。若手職員の採用により、資料作成について未だ不慣れなところがあるのがこの様な結果となったのではないか。研修については、内容の習得に保育者自身が実感を得られていない結果となった。今年度から外部研修については、保育者の希望を取るようにしている。次年度も引き続き、自分が学びたいと思っている分野に参加出来る様にしていく。